

授業科目	こどもの文学と物語 (AB クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21513J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	戸田 由美							
授業概要	誰でも小さい頃、夢中になって物語や絵本を読んだ記憶があるでしょう。物語の主人公になって異次元の世界に遊ぶあの楽しさには、えもいわれぬ醍醐味があります。児童文学のなかにはうかがわれる、空想性、擬人化、言語、思考の流れ・・・などがとびだしてくるのです。それを大人の私たちが一つひとつ分析するうちに子どものころや文化、子どもの求めていることなどがよくわかってきます。子どもの精神世界を見つめ、「善く生きる」とは何か、その意義と、幼児教育の大切な関連性を学びます。							
学生が達成すべき行動目標	1.子どもの精神世界を見つめ、子どもに関する日常の疑問にも答えることができる。 2. 感じたこと、考えたことなどイメージしたことを自分らしいやり方で表現することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	20	30	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			20		10	10	40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			30		10	20	60	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
子どもの表現を見たり聞いたりしただけで、子ども心を理解し、言葉がけに成功する。				子どもの感動する内容を自ら汲み取って、ふさわしい対応ができるようになること。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	児童文学や、絵本に動物がたくさん登場するのはなぜか。その秘密を知ると、もっと面白くなる			講義		講義の内容を復習しておくこと。		30

2	子どもを本好きにする方法 本嫌いの要因と、読書における間接体験について考察する。	講義	講義の内容を復習しておくこと。	30
3	本を読めば頭がよくなるのか、 能力の裏の意味について学ぶ。	講義	講義の内容を復習しておくこと。	30
4	性教育と児童文学について あなたの知らない日本の性教育の実態(歴史も含む)と、関連するおはなしを学ぶ。	講義	講義の内容を復習しておくこと	30
5	物語と、子どもの右脳、左能との関係 児童文学において、とても大切なこと。	講義	講義の内容を復習しておくこと。	30
6	ファンタジーについて 子どもに人気の理由をあげてみる。	講義	講義の内容を復習しておくこと。	30
7	グリム民話の世界を訪ねる—— ジャスト・ソーネスの世界について学び、その奥義について考察する。	講義	講義の内容を復習しておくこと。知っているグリムの民話について再度思いだしてよんでおくこと。	30
8	アンデルセン文学について メルヘンの意味と子どもに与える影響を学ぶ。	講義	自分の好きなアンデルセンの物語を選んでおくこと。	30
9	障がい児をテーマとした作品 色々な作品群にふれて、その世界をかんがえる。	講義	講義の内容を復習しておくこと。	30
10	戦争とはなにか。 子どもに教える戦争や核の話として、とても大切な部分にふれ、学ぶ。	講義	講義の内容を復習しておくこと。	30
11	クリスマス作品を味わう。 「サンタクロースはいますか」の子どもに質問にどう答えますか？	講義	講義の内容を復習しておくこと。	30
12	老——若を考える 現代における課題である「老い」は児童文学にどのように表れているのか考察する。	講義	講義の内容を復習しておくこと。	30
13	科学絵本について 科学の物語のおもしろい関係を学ぼう。	講義	講義の内容を復習しておくこと。	30
14	子どもと家族をかんがえる。 子どもにとって対人関係の第一歩である家族について、物語や絵本ではどう表現されているか。	講義	講義の内容を復習しておくこと。	30
15	まとめ 今までの講義を振り返り、重要ポイントを復習しながら総括的に考えてみる。	講義	講義の内容を復習しておくこと。	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	実習中の、子どもの楽しい表現や子どもに人気のある絵本などを、心にとめておきましょう。わからないことは、ノートし、辞書、あるいは事典で調べ、次のステップに活かしましょう。			
テキスト	テキストは使用しません。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	その都度、必要な資料は配布、あるいは紹介いたします。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義中は、学生からの質問コーナーを設けるため、しっかり受講し、知識欲旺盛に学んでいただきたいと思っています。そのためには、日頃から、好きな絵本や心に残る物語を見つけておいてほしいと思います。			
達成度評価に関するコメント	最後に提出するレポート、その他講義中の態度など、総合点によって成績をつけるので、真面目に取り組むこと。まずは、無遅刻、無欠席をこころがけること。「その他」では、授業への積極的な受講態度を評価する。			